



被爆者がニューヨークに来ます！！

来る4月24日から国連本部でNPT（核兵器不拡散条約）再検討会議が始まります。

会議に向け、日本から平和を願うたくさんの市民とともに原爆被爆者がニューヨークにやってきます。

私たち50人の被爆者代表団は、国連本部ロビーでの「原爆展」開催、各国政府国連代表部への要請行動、会議の傍聴、世界中のNGOの皆さんとともに平和行進、などの活動をする予定です。

とりわけ、ニューヨークにお住まいの皆さんに、被爆者自身が語る原爆体験を、その後の人生を、訴え、を聴いていただきたいと願っています。

代表団は4月24日から29日までニューヨークに滞在します。

滞在中、被爆者代表は、ご要望に応じて、皆さんのところに伺うことができます。被爆者の「核兵器廃絶への思い」を、ぜひ直接お聴きいただき、受けとめていただければ幸いです。

被爆者の証言に関心のあるかたは、ぜひ日本被団協のNY事務局までご連絡ください。

日本被団協（日本原水爆被害者団体協議会）
Japan Confederation of A- and H-Bomb Sufferers
Organizations
Email: hidankyovol@gmail.com

日本被団協（日本原水爆被害者団体協議会）：

日本被団協は、1945年8月6日に広島で、9日には長崎で、アメリカが投下した1発ずつの原子爆弾で被害を受けた原爆被爆者の組織です。1956年に結成され、あらゆる政治、思想信条、宗教などを超えてすべての被爆者を統一して結集する唯一の全国組織です。原爆被害への国家補償と核兵器廃絶を目指して活動しています。

2015年2月
日本原水爆被害者団体協議会